

大学生を狙うマルチ商法

2014年6月15日号

10代、20代の若者の多くがスマートフォンを利用していますが、スマートフォンのSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)が紹介販売の相手探しの場利用されているケースが増えています。紹介販売とは、友人から健康食品を購入、会員登録し、同様に友人に健康食品を販売し会員登録をしてもらうとバイト料がもらえる仕組みで、これはマルチ商法(ネットワークビジネス)と呼ばれます。

マルチ商法とは、登録料などを払って販売組織に加入し、商品・役務を購入、何人かの組織加入者を勧誘することが条件となっています。組織加入者数がピラミッド的に増加、発展し、高収入が得られるというものですが、実際には思ったように加入者を探すことができず、商品購入のため借金したり人間関係を壊したりするケースがほとんどです。安易に友人やSNSで知り合った人からの勧誘に乗らないようにしてください。